

2025年NMC8月例会報告

1. **開催日時**：2025年8月21日（木）15：30～17：00
【講演60分、質疑応答30分】
2. **開催場所**：高円寺北区民集会所第4集会室(2階)
3. **講師**：関屋宏彦さん（NMC 会員）
（幹事による講師紹介：昭和42年3月慶応大学卒。日本開発銀行（現日本政策投資銀行）に入行。本店各部や国内支店、ロンドン主席駐在員などを経て、設備投資研究所副所長。ご家族は、ピアニスト（奥さんと長女）やバイオリニスト（次女）の音楽家でロンドン在住。関屋さんもロンドンと杉並区荻窪の自宅を行き来する生活を続けられている。今春頃、ロンドンに住む決断をされ、8月に一時帰国されるのを機に講演をお願いしていた）
4. **参加者**：14人（細越、高橋、矢口、宮崎、松崎、内田、小池、長谷川、永瀬、小高、鈴木、小川啓介、石村、関屋<講師>）
5. **演題**：「終の棲家は日本か英国か？」
6. **内容**：関屋さんから掲題の演題のレジメコピーが参加者に配布され、これをパソコンで白板に投影しながら60分のお話が始まった。まず、**(1) はじめに**の中で、関屋さんと**①NMC との縁**、**②イギリスとの縁**、**③家族について**話があり、**(2) 選択する3つの視点**として、**①住みやすい社会**、**②健康長寿維持と介護への備え**、**③生を全う**出来そうな場所という観点で説明があった。この中で、イギリスには“GP”という地域ドクターの診療所の紹介があったが、これは登録した近隣の患者に対し、“無償の医療サービス”を実施してくれるもので、日本にはない施設だ。イギリスの税金が高い理由の一つだろう。健康長寿をいかに保つかでは、英国は社会的処方制度、日本は介護保険制度であるが、それぞれに長短があるということをお話された。講演後30分質疑応答時間をとり、多くの方が質問された。その後、17：15～18：45にJR高円寺駅近くの中居居酒屋“成都”で、有志10人が講師を囲み久しぶりに懇親会を開催し、意見交換をした。

文責<幹事>：(石村)、写真：(小川啓介)



▲講師の関屋さん



▲講演風景